

1 計画目標

目標値の設定に当たっては、ごみ処理の現況を踏まえつつ、国の基本方針や県計画において示された新たな目標等を考慮し、効果的な施策の展開によって実現を目指す新たな目標値を定めることとします。

(1) 排出原単位

**830g以下：平成26年度比約7%削減
(目標平成33年度)**

旧柏地域の1人1日当たりのごみ排出量（排出原単位）は平成27年度実績868gで、国の第三次循環型社会形成推進基本計画の目標値890g（目標年次平成32年度）を前倒して達成しています。

この様な中であっても、本計画では、さらなる減量を目指し、国の基本計画の目標値（目標年次平成32年度）が平成26年度対比6%減でありこの割合を本計画の目標年次平成33年度まで推移すると平成26年度対比7%減であることを踏まえ、旧柏地域の排出原単位を平成33年度までに平成26年度の実績892gから7%減の830g以下にすることを目標とします。

(2) 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量

**392g以下：平成26年度実績から50g減
(目標平成33年度)**

1人1日当たりの家庭系ごみ排出量は、平成26年度実績442gであり、国の基本計画及び県計画の目標値500g（目標年次平成32年度）を前倒して達成しています。

このような中であっても、本計画では、従前の減量施策に加えて新たな減量施策の実施による一層の減量を目指し、平成33年度までに平成26年度の実績から50g減の392g以下

にすることを目標とします。

(3) 総資源化率

約 22.5%
(目標平成33年度)

推計による平成33年度の総資源化率は、平成26年度の総資源化率から約2%減の21.6%となります。

このような中であって、新たな資源化施策の実施により平成26年度の総資源化率からの減少幅を推計の半分に留め、総資源化率約22.5%を目標とします。

(4) 最終処分量（埋立量）

10,200t以下：平成26年度比約18%減
(目標平成33年度)

平成24年度以降、柏市は焼却灰等の最終処分を市外施設において委託処理していることを考慮し、最終処分量の目標は、国の基本方針より高い目標とします。

平成26年度実績12,432tと比較し約18%削減する目標です。

※柏市における放射性物質を含む焼却灰等の処理については、平成23年度から本計画策定時点に至っても緊急的かつ臨時的な措置を講じています。

上記目標値は、今後も同様の措置を継続することを想定し、設定したものです。